

## 平成 28 年度事業 地方創生加速化交付金事業

〔事業名 かつうら観光まちづくりコンソーシアム整備事業〕 【評価 B】

### 【事業背景】

- 勝浦市は、平成 26 年度から過疎地域の指定を受けるなどの人口減少・若年層流出が起きており、人口減少の一因としては、若者の希望に叶う就職先が市内に十分でないなどの理由から、卒業後に地元就職しない。また、希望する就職先を求めて転出していることがあげられる。

市内にある国際武道大学の学生（全校生徒数約 2,000 人・年間 500 人の転出入）の市内就職定着にとっても重要な課題となっている。

### 【事業課題】

- 近年のレジャーの多様化や東日本大震災以降の海水浴などのレジャー離れにより、観光地としての衰退
- 既存観光の陳腐化・近年の観光の多様化に対応できていないことが主な要因（H18 年 - H22 年では年間入込客数 150 万人程度が近年では 110 万人に、H18 年宿泊施設軒数 175 軒が 120 軒に減少。空き店舗も約 110 軒の店舗中 25 軒が空き店舗）
- 観光振興の中心である観光協会が、旅館、飲食店、朝市関係者、海岸売店関係者、商工会等の、多様な業種で構成されたボランティア団体であり、本業が多忙なことから、滞在時間を延長させる仕組みづくりが図れていない状況

### 【事業概要】

- 市の基幹産業である観光産業と農林水産業を軸に、活性化を目指す
- 本市でも既存観光とは異なる次元の観光ニーズの掘り起こし
- 滞在時間を延長させる仕組みづくりの構築
- 市の観光産業の地域資源
  - ・日本の渚 100 選である鵜原守谷海岸
  - ・400 年以上続く勝浦朝市
  - ・かつうらビッグひな祭りなどのイベント開催

### 《観光資源の活性化事業》

- 観光協会員をはじめとした多様な構成員で、観光の陳腐化・多様化に対応するため、観光地としての要因を分析し、モニターツアーなどの実施によりターゲットを絞りながら、本市の観光資源を活用した滞在時間を延長させる仕組みづくり（体験型観光等）を話し合い、観光地としてのビジョンを確立・共有させるため、「かつうら観光まちづくりコンソーシアム」を設立

○各種データ等の収集、要因の分析を行い、観光客の滞在時間を延長させる仕組みづくりなど、ビジョンを具現化させるために観光地再生戦略の策定

○モニターツアー等の実施により観光する際の基本的条件の検証による、勝浦産品を活用した商品の開発及び体験型観光商品開発

《雇用促進事業》

○空き店舗等を観光客の交流の場、体験型観光の窓口として整備

○市内で起業創業を希望する若者に対して、雇用情報の提供、融資相談などの窓口業務を行う

○農水産物を使用した勝浦産品のお土産品の開発・販売を行う事による6次産業化と、勝浦産品使用による消費拡大による供給者である市内農業・漁業者の収入増加及び収入増による新たな雇用を創出させ、減少する1次産業への担い手確保を図る

《人材育成事業》

○観光産業・農林水産業の活性化のため、やる気のある人材の発掘と育成するための講座開設

【数値目標】

目標事項	H29 年 3 月	H31 年 3 月	平成 29 年 3 月 【実績】
交流人口（観光入込客数） 1, 1 2 6 千人（H 2 6）	1,200 千人	1,250 千人	1,083 千人
市内宿泊件数 2 9 1 千人（H 2 6）	300 千人	305 千人	284 千人
観光事業関連雇用創出者数 （飲食・宿泊業含む）	20 人	150 人	5 人
漁村体験・農村体験観光 入込客数 0 人（H 2 6）	300 人	1,000 人	43 人
住民参加型まちづくり活動 の実施 0 件（H 2 6）	4 件	10 件	5 件

[事業名 さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのアクセス強化・観光プロモーション事業] 【評価C】

【事業背景】

- 千葉県は半島のため交通網の発達が遅く、成田空港を擁しながら空港と県内観光地を結ぶ交通アクセスが弱いため、空港利用の観光客を十分に取り込めていない状況にある。さらに東日本大震災による影響により、勝浦市を含む県南部では風評被害が生じ、客足は震災前まで回復していない状況にある。

こうしたことを受けて、県をはじめ関係者が個別にサービスを実施してきたものの効果も限定的で観光客の増加に結びついていない。

【事業概要】

- 夏の観光シーズンに比べ観光客が減少する9月～11月において過ごしやすい気候のもと、県内を周遊する新たな旅のスタイルを提案する。
- その実現のため、バス事業者と連携して県内観光地へのアクセスを強化する。

【数値目標】

目標事項	H29 年 3 月	H31 年 3 月	平成 29 年 3 月 【実績】
交流人口（観光入込客数） 1, 1 2 6 千人（H26）	1,130 千人	1,300 千人	1,083 千人
レンタサイクル利用人数	650 人	700 人	783 人